



**Bread: a decentralized financial services platform  
for everyone.**

Bread : 全てのユーザーのための分散型金融サービスプラットフォーム

## 目次

1. 概要	3
2. 我々が解決する課題	4
3. Breadの歴史と現在の業績	7
4. チームメンバー	9
5. Breadの将来に関する我々のビジョン	12
6. どのように目標を達成するのか	13
7. リワードプログラムとトークンの割り当て	17
8. 財務及び規制遵守	19
9. 結論	21

## 1. 概要

Breadは世界最大の分散型金融機関を目指しています。私たちのチームメンバーの多くは、仮想通貨の初期段階から携わっており、ビットコイン、イーサリアム、その他のデジタル資産が新しい金融インフラへの道を切り拓いていくのを見てきました。これらのテクノロジーの登場により、ユーザーは限定的でコストのかかる金融機関ではなく、お金を直接的に扱うことが可能になりました。

我々は、お金がインターネット上の情報の様に流動的になる未来を想像しています。消費者は、第三者に頼らず、自分の資産を自分でより安全に管理する事が可能になります。ハッカーがサーバーにアクセスし、数百万のクレジットカード情報を盗むことは不可能になります。また、銀行に資産を管理してもらう必要もなくなり、彼らの貪欲な投資慣行に左右されることもなくなります。

今後は、銀行、クレジットカード発行者、決済代行会社を通じて行っていることを、ユーザーが自分の端末から仮想通貨を活用して実行が可能になります。スマホ1つで、給与の受取り、公共料金支払い、ローン借入、株式投資、世界中の人々への送金、オンラインショッピングをする事ができるようになります。

これは仮想通貨を活用して実現できる未来です。そして、Breadは、顧客の資金や個人データを一切保有をしない、世界最大の分散型金融機関になる事で、この未来を実現します。

それでは、Breadはどのようにこの世界を実現させるのでしょうか？Breadのプラットフォームのコアは今まで提供してきたウォレット機能にあります。こちらは今までも、そしてこれからも無料で提供します。この機能を使い、ユーザーは仮想通貨を保管できると同時に、世界中の誰にでも送金する事ができます。Breadは仮想通貨のピアツーピアネットワークに直接接続します。もしBreadが会社として閉鎖されてしまったり、サーバーがハッキングされても、各ユーザーの資産は安全に自分たちのデバイスの中に保護されています。

Breadでは、単純に仮想通貨を管理する以外に、世界中の様々なサービスプロバイダと提携して、ユーザーがBreadのプラットフォームを通じて幅広い追加サービスにアクセスできるように

します。金融サービスを新たに立ち上げ、法的に遵守するためには多くの時間と費用がかかります。その代わりに、Breadは世界各地に既に存在するサービスと連携する事を目指します。法を遵守し、Breadの高品質基準を満たしている各サービスと連携し、第三者のサービスでもBreadのプラットフォーム上ではユーザーフレンドリーな体験を実現できるよう努力します。我々にとっては直観的なシンプルさとセキュリティが最優先事項です。

ユーザーの方々に更なる価値を提供し、ユーザー数の拡大を促進し、Breadの世界的な金融プラットフォームの開発をサポートするために、我々は仮想通貨ウォレットとして初のリワードプログラムを開始します。

Bread Rewardsプログラムは、Breadトークンがベースになっており、トークンを活用することによって、アプリ内で特別な特典や割引を獲得することができます。ユーザーは様々なプロモーションプログラムに参加することにより、トークンを獲得することが可能になります。例えば、ソーシャルメディアへのBreadに関する投稿や簡単なユーザーアンケートへの回答、またウォレット内に一定数以上の仮想通貨を保有している場合などに、トークンを報酬として分配することを考えています。

トークンはイーサリアムネットワーク上に構築され、Breadの保有されている仮想通貨と同様に、ユーザーがウォレット内で管理をできます。これにより、ユーザーはBreadに頼らず、いつでもトークンを送ったり利用する事ができ、とても魅力的なリワードプログラムとなっています。

## 2. 我々が解決する課題

### 現状の課題:

- 1) ビットコイン及びその他の仮想通貨はまだ利用しにくく、新規ユーザーに対して十分に魅力的ではない
- 2) デジタル資産を利用できる場が限られており、一括して管理する方法がない
- 3) ほとんどの銀行は今日この様な選択肢を提供しておらず、多くの場合グローバルではなく国別に運営されている

現在ケータイ電話が非常に普及したため、我々は今までにないほど、自身の金融的自由を手に入れることが可能になっています。インターネットとモバイル端末が世界に浸透するに従い、我々のサービスの価値はどんどん高まり、またこれらの国際的な課題に対する解決策になると、我々は考えています。

Breadは利用の簡便さと高い安全性を併せ持ち、“どの様にユーザーにとって使いやすいサービスを提供するか”という課題に対して統合的なアプローチを行なっています。我々のテクノロジーは、最もよく知られたブロックチェーン技術である、ビットコインブロックチェーンの技術基盤の上に構築されています。また加えて、現在ユーザーが利用しているモバイル端末に搭載されている最新のスマートフォンのセキュリティを活用することにより、我々は真に他に類を見ない存在となっています。これらの技術が、過去何年にも渡ってBreadのユーザーを魅きつけて来た、我々の持つ核となる基盤です。

重要な点は、Breadはユーザーのいかなるデジタル資産も保有せず、ユーザーの資産は直接ブロックチェーンに繋がっており、ユーザーに信頼と安全を提供しているということです。我々が我々の最大の競合と異なるのは、我々自身は取引所ではなく、取引所と提携をしているという点です。そして、これはBreadが真に分散型の銀行サービスを提供するのに必要な鍵となる機能の一つであると考えています。我々はほとんど手数料をかけずに国際送金を行うことや、ユーザーが自身のモバイル端末から24時間ボーダーレスな銀行サービスを利用すること可能とし、ハッキングの懸念なく何十億人もの人々が自身の資産に即時にアクセスできる様な拡張性を持ったサービスを提供します。

今後数年で電子通貨・デジタル通貨・仮想通貨は非常に大きな拡大を見せるでしょう。そして、我々はこの既存の金融システムの再構築の中心的な存在であると考えています。既に多数の国で、現金は市場から姿を消しつつあります。その良い例が、米国において1,000億米ドルの現金が徐々に姿を消しつつあるということです。現金は安全でなく、非効率で、また管理にコストがかかり、移動が面倒で、分配に時間がかかり、そしてよく立ち止まって考えてみれば、完全に時代遅れだということが、認識されつつあるのです。世界の先進国の大多数で、クレジットカードやその他の金銭の授受のためのより安全で効率的なモバイルペイメントの手段が発展するに従い、物理的な金銭のやりとりはどんどん行われなくなっています。

また、経済力が低い発展途上国の多くで、中央銀行やその他の一流の金融機関によって、通貨へのアクセス力がない、または機会を持たない、経済的に恵まれない人々が適切に扱われないという継続的な問題が存在しています。またGDP成長率を上回る速度で貨幣を発行している国々では特に、インフレーションの重篤な問題が存在します。通常、一般市民はこれらを重要な問題だと考えていませんが、経済競争力の弱い国家の通貨において、近年信じられないほどの通貨価値の下落が発生しています。

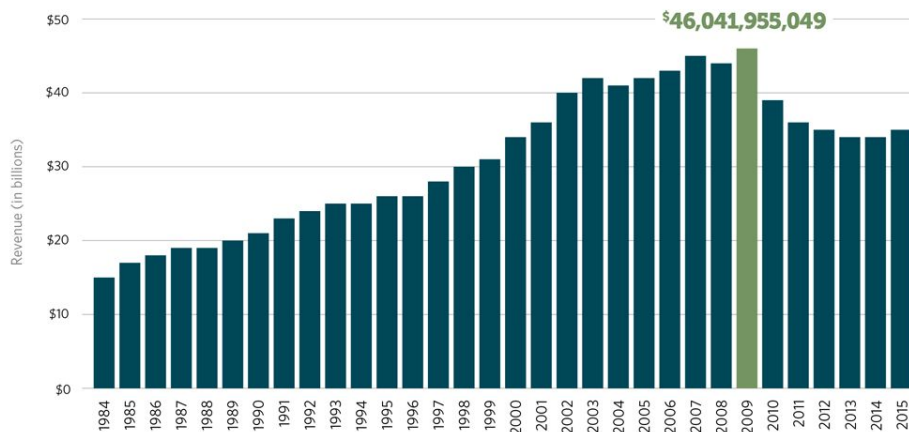
現在の仮想通貨コミュニティにおけるもう一つの問題は、所有するデジタル資産や仮想通貨を利用できる場所が不足しているということです。これらの問題は部分的に、市場の成熟や業界全体の進化によって解決されるでしょう。疑いなく、仮想通貨には様々な利用方法があります。しかし、Breadはその中で我々がこの機会を利用できるユニークなポジションにいると考えています。この点に関して、新たなアイデアを持った数多の新興企業が現れていますが、未だその中にマーケットリーダーと言える企業はなく、我々はこの市場でシェアを拡大しつつある複数の企業よりも、数年先を行っていると言えます。Breadの成長にとって、今はまたとない好機だと言えるでしょう。

仮想通貨を利用できる場所が限られているだけでなく、ウォレットの仮想通貨を現在仮想通貨を取り扱っていない取引所や店舗で利用するには、複数の規制や障壁があり、ユーザーにとって混乱しやすい仕組みであるため、滅多に利用されていないのが現状です。Breadにはこの現状を変える使命があります。

世界に今日存在する金融機関に目を向けてみると、既にブロックチェーン技術を活用する実験を行なっている企業もあり、またその一部は政府と協力しています。しかし、未だ十分な競争力を持つ立場にある企業はありません。今日の銀行システムの全体的な基盤は、中央集権化された資産管理とコントロールにあります。銀行のパートナーやサービス提供企業は全て現在の中央集権システムと資産コントロールから利益を得ており、このためにユーザーは自身の資産にアクセスするために手数料を払い、待たされ、更に時には誤った資産管理に対して手数料を払わなければなりません。ユーザーの資産を保有せず、ブロックチェーンに直接接続しているというBreadの根本的な方針に、銀行が長期的に対抗することは難しいでしょう。

## Service Charges Have More Than Doubled During the Past 3 Decades

Inflation-adjusted deposit account fee revenue, 1984-2015



Notes: Data are adjusted for inflation using the Bureau of Labor Statistics' average consumer price index for all urban consumers. All dollar amounts are annual year-end figures in terms of 2015 dollars and include all FDIC-insured institutions for each year shown, which included almost 18,000 in 1984 and about 6,100 in 2015. In 2009, the Federal Reserve Board amended its regulations to require that account holders opt in to overdraft service on ATM and nonrecurring point-of-sale debit card transactions before banks can charge fees for covering those transactions.

Source: FDIC's Quarterly Banking Profile aggregate time series annual income data

© 2016 The Pew Charitable Trusts

330

### 3. Breadの歴史と現在の業績

Bread ( ) 2014 iOS

Bread

Bread

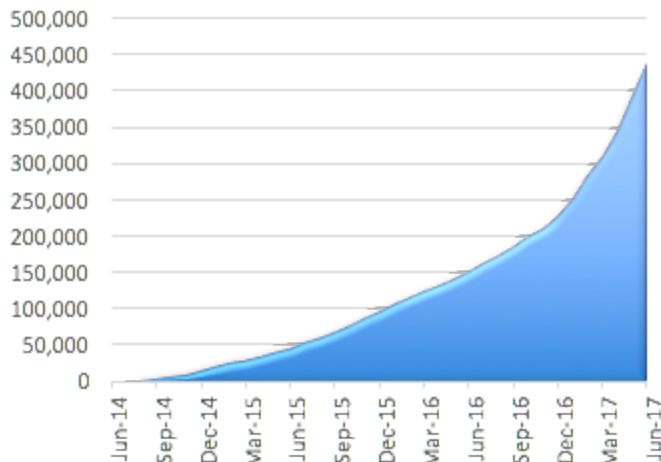
2015

2016





## Global downloads



Bread 2014

120

50

2017 8

A

## 4. チームメンバー

### 経営陣

Adam Traidman ( ) – CEO

アダムはBreadの共同創業者でありCEOです。過去、アダムは食生活のモニタリングに特化したウェアラブルデバイスのスタートアップであるWearSens社のCEOを務めました。また、キャリアの初期において、アダムは2008年にCadence Design Systemsに買収されたChip EstimateのCEOを務めました。彼は20年以上に渡るハードウェア、ソフトウェア、IT業界でのキャリアを通して、セールス、マーケティング、マネージメント及び開発のポジションを歴任してきました。彼の最初のキャリアは、NASAのジェット推進研究所及びカリフォルニア工科大学におけるハードウェア及びソフトウェアの研究開発でした。また、同時に彼は熱心なエンジェル投資家でもあり、シリコンバレーを拠点とするベンチャーキャピタルのパートタイムパートナーでもあります。

Aaron Voisine ( ) -

アーロンはBreadの共同創業者であり、社長です。過去には、アーロンはYammer及びBanjoにおけるモバイルアプリ開発の責任者を務めていました。また、人気のソーシャルビデオ共有アプリであり2014年に売却された、Lighttの共同創業者でした。キャリアを通し、アーロンはシリコンバレーのモバイルアプリ・ウェブサービスのスタートアップにおいて、様々なソフトウェア開発のポジションを歴任しました。彼は、最大限シンプルで直感的なユーザー体験を大切にしたいコンシューマーアプリケーションのデザインを非常に重視しています。

Aaron Lasher( ) – CMO

アーロンはBreadの共同創業者であり、CMOです。アーロンはde novo及びヘルスケア・ライフサイエンス業界において、10年以上のエクスペリエンスデザインとユーザー中心の研究の主導経験があるマーケティングエグゼクティブです。過去には最先端のソフトウェアアプリケーションを含むハイテク製品のマーケティングなどを手掛けてきました。彼は2011年以来ビットコインコミュニティの活発なメンバーであり、世界中の仮想通貨関連イベントで頻りに登壇しています。

James MacWhyte ( ) – CPO

ジェームスは、2012年日本に居住中にビットコインとの関わりを開始しました。ジェームスは東京ビットコインミートアップのオーガナイザーを務め、日本のビットコイン業界の中心的な存在となり、仮想通貨のエキスパートとなりました。サンフランシスコに移住後、ジェームスはCoinbase、Krakenに勤務後、Breadに参加しました。ジェームスはBreadのプロダクト責任者として、開発ロードマップの策定と実行を行なっています。

Sam Sutch ( ) – CTO

サミュエルは複数の開発言語を使いこなす開発者・UXデザイナーであり10年以上に渡ってシリコンバレーのスタートアップで働いてきました。Yammerにおけるシニアエンジニアとして、iPhone及びiPadアプリの初期バージョンのデザインと開発に携わりました。Yammer勤務後、サミュエルは、身近な友人や家族とモーメントや無限のビジュアルタイムラインを共有できるモバイルアプリであるLighttを創業しました。サムは現在BreadのCTOとして、個人のプライバシーを尊重する、検閲されない通貨である仮想通貨をユーザーにとって利用しやすいものとするために働いています。

Brent Traidman ( ) – CRO

ブレントは15年以上に渡って大きな成長を遂げた複数のソフトウェア企業を率いてきました。その多くは成功したエグジットを行なってきました。直近、ブレントはVista Equity Partnersのポートフォリオ企業で働き、2つの企業のエグジットに貢献しました。ブレントはBreadにおいて収益基盤の構築と成長戦略の進化を担当します。Breadの業務に加えて、ブレントはシリコンバレーを拠点とするベンチャーキャピタルのアーリーステージ投資へのアドバイスを行っており、グローバルアクセラレータへの助言、メンタリング、出席を定期的に行なっています。

Scott Wiebe ( ) – CFO

スコットは、過去22年に渡り、ベンチャーから大企業までの多様な企業において、CFO及び様々な財務・経理及びシニアマネジメントとしての役割を果たしてきました。彼はキャリアの多くを、KPCB、DAGベンチャーズ、ウェストリーグループ、ドイツテレコムが出資するシリコンバレーの企業で過ごしてきました。彼の指導によって、これらのベンチャーの多くはエグジットに成功しました。また、スコットはシリコンバレーバンクを含む著名な銀行において、13年間のベンチャーバンキングの経験があります。これらの経験を経て、スコットはBreadにおいてCFOの役割を果たしていきます。

**技術・開発チーム：**

Adrian Corscadden (エイドリアン・コースカデン)

Matt Davids (マット・デイビッツ)

Mihail Gutan (ミハイル・グータン)

Daniel Moore (ダニエル・ムーア)

Pieter Parker (ピーター・パーカー)

Kevin Ponto (ケビン・ポント)

Daniel Staudigel (ダニエル・スタウディゲル)

アドバイザー：

Batara Eto（衛藤バタラ） – ベンチャーキャピタリスト

Charlie Lee（チャーリー・リー） – ライトコインクリエイター／ビジョナリー

David Johnston（デイビット・ジョンストン） – 起業家／ビットコインビジョナリー

Shinji Kimura（木村新司） – 起業家／投資家

Ben Davenport（ベン・ダベンポート） – 起業家／ビットコインビジョナリー

Mai Fujimoto（藤本真衣） – 起業家／ビットコインビジョナリー

備考： Breadの顧問アドバイザーは技術的にまた戦略的なアドバイスを行うもので、資金調達やトークンセールとは関係なく、これらの購入に参加することもしないこともあります。

顧問法律事務所：Cooley LLP

1114 Avenue of the Americas New York, NY 10036-7798

顧問会計事務所：PrimeTax AG

Hansmatt 32, CH-6370 Stans Switzerland

## 5. Breadの将来に関する我々のビジョン

Uberが車両を持たない最大の輸送企業であり、Airbnbがビルを所有しない最大のホテル企業であるのと同じ方法で、Breadはユーザーの資産を一切管理しない最大の金融機関になろうとしています。これらの企業がサービスを提供するために「共有型経済」を活用する一方で、我々は安全で効率的な銀行システムを提供するために、現存する最大の分散型電算式プラットフォーム（スマートフォンやモバイル端末）を活用しています。

伝統的な金融プラットフォームには多くの弱点と致命的な障害をもたらす欠点があります。銀行や投資機関は、横領、資産運用の失敗、そして時には突然の大損害をもたらすような完全な破産といった状況に陥る可能性があります。クレジットカード会社は、高い間接費を負担して、詐欺的行為によって生じた損失を全てのユーザーに平等に分散することを選択しています。つまり、勉強熱心で慎重なユーザーが、不注意なユーザーの尻ぬぐいをさせられているのです。現在に至るまで、これらの金融機関のユーザーはこれらのサービスに直接アクセスする手段を持っていなかったため、金融機関の経営方法は、これ以外ありませんでした。

Breadはユーザーに自分の資産を管理させることで、これらの問題を全て排除します。全てのユーザーに実際にミニチュアの銀行を置くことにより、Breadは金融サービスを提供するためにユーザーの資産を管理する必要がなくなったのです。Breadのプラットフォームを通して、ユーザーは自分達の資産の管理を一切諦めることなく、サードパーティの金融サービスと直接関わることができるのです。

Breadはさらに進化して、ユーザーがBreadのプラットフォームを通して直接アクセスできる外部の金融サービスを多数追加する予定です。ユーザーは最終的に、かつては複数の別々の金融機関と契約しないとできなかったことを、Breadを通して行うことができるようになるのです。それには、財産の保管や移動、給与の直接振込みと自動引き落とし、株・証券・デジタル資産への投資や管理、ローンや住宅ローン、クレジット履歴の証明、さらに、現在はまだ実現していない将来の金融サービスも含まれます。

ビットコインやイーサリアムのような仮想通貨の出現は、常時接続している強力なモバイル端末の急激な普及により、次世代の金融サービスの開発を可能にしました。次世代においては、もはやユーザーは自分達が利用することを選んだ金融機関の言いなりになることなく、世界の金融市場と直接取引を行う完全な自由を手に入れるのです。Breadはこの可能性を現実のものにする初めてのプラットフォームを構築しています。

## 6. どのように目標を達成するのか

今日、Breadはビットコインを保存、送信、受信するためのウォレットとして非常に多くのユーザーに利用されています。Breadはビットコインネットワークに直接接続されているため、完全に分散型であり、我々のサーバーに頼らない設計となっています。さらに、Breadは分散型のサードパーティの金融サービスにアクセスするための完成されたフレームワークを特徴としています。これらのサービスのユーザーは、それぞれのサービスで必要とされる個人情報を入力し、それらの情報はユーザー自身の端末に暗号化されて保存されます。もし別のサービスで同様の情報が必要になった場合、既に保存されている情報を選択して提出することができるため、再入力の手間がかかりません。このように、サービスが機能するためにBreadのサーバーを介する必要はなく、また利用中のサービスへのアクセスを妨げることなく、いつでもサードパーティのサービスを追加したり削除したり入れ替えたりすることができます。我々の長期的

な目標を達成するために、これらの機能を様々な方向で拡張し、また新たな機能の追加を行なっていきます。

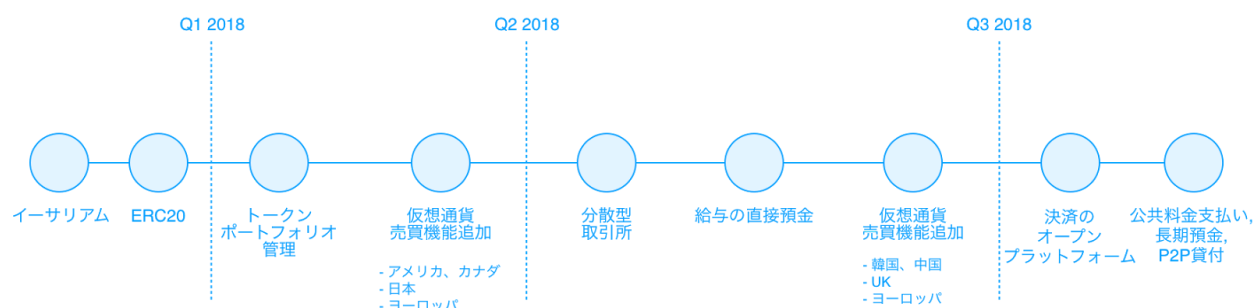


図3: 今後4期の四半期に渡ってのBreadのプロダクトロードマップ

## イーサリアム

サービス拡張への第一歩として、イーサリアム、およびERC20トークンの送信・受信・保管のサポートを始めます。この新たなウォレット機能は、現在の我々のビットコインウォレットと類似の機能性を持ち、ユーザーが自らのプライベートキーを自身の管理下に置いたままで、直接的にイーサリアムのネットワークとやり取りすることを可能にします。

ビットコインは価値を保存したり移動させたりする安全な手段であり、新しいグローバル金融ネットワークを形作る第一歩です。イーサリアムは次のステップとして、ただプロジェクトに投資するだけでなく、その投資によって作られるネットワークやプラットフォームに参加することも可能にします。

## ポートフォリオ管理

ERC20トークンの様なデジタル資産へ投資し、自身のBreadに保管することが可能になれば、ユーザーはきっと自身の資産の運用実績状況を確認するための強力なツールがほしくなることでしょう。そこで、我々は強力なポートフォリオ管理のプラットフォームを導入します。この機能は、既存の金融業界における資産管理・管理プラットフォームと類似の設計がなされています。投資家が一目で自身の資産運用を確認することを可能にしつつ、最新の仮想通貨に関するニュースやトークン関連情報、様々な専門家による市場分析等、様々な情報源にアクセスする方法も提供していく予定です。

プレミアムサービスとして、ユーザーはICOのプレセールに関する情報にアクセスでき、またプレセールがアナウンスされてすぐに参加することができます。

## 売買に関する追加機能

世界中の既存の仮想通貨とトークン取引所との提携を活かし、できるだけ広い範囲で合法的にこれらの資産を売買できるようにすることを目指します。各国によって規制が異なるので、各国毎の規制を満たす範囲で行なう予定です。例えば、あなたが日本でBreadを開けば、日本の取引所や日本で法的に認められたサービスにアクセスできます。もしあなたがドイツに旅行し、そこでBreadを開けたなら、その地域で利用できるサービスが見られるようになります。

## 分散型の資産取引

取引所やその他の取引サービスは、仮想通貨とデジタル資産エコシステムの中で重要な構成要素です。しかし、分散型金融サービスの次世代フレームワークを構築するには、資産保有者同士が安全にそして簡単に直接取引をできるような方法を準備しておくべきです。

我々はBreadのプラットフォームを使ってユーザー同士が、お互いを知らず信頼関係が無くとも、自動的に様々な資産を交換できるような機能を開発しています。

## その他の金融サービス

Breadのプラットフォームを完全な機能を持った分散型金融プラットフォームにするためには、通常の銀行が提供している全てのサービスを、分散型の方法で提供する必要があります。

これらの機能とは、仮想通貨を直接ユーザーのウォレットに送る給与の直接振込みや、個人間の融資、自動引き落とし、定期預金などを含みます。

## 決済のオープンプラットフォームの開設

Breadの利用に際して、それぞれのユーザーは自分の端末に個人情報を保存し、また、その情報を認可されたサードパーティに対して安全な方法で提供することができます。中央管理下に保存する代わりに、各ユーザーの端末にこれらの情報を保存することで、万一企業のサーバーが攻撃されたとしても、こういった重要な情報が盗まれることはありません。昨今では、そういった方法でクレジットカード情報やユーザー情報が盗まれるという問題が頻発しています。

我々は、Breadのエコシステム外でも、管理された方法でこの様な登録情報を利用できるオープンプラットフォームの開発を予定しています。ユーザーは利用する販売店やサービスに対して、安全な方法で自らの必要な情報を提供することが可能です。対面の利用シーンでもオンラインでも、販売店やサービス提供者がAPIにアクセスすることで、ユーザーにこれらの情報提供を依頼することが可能になります。

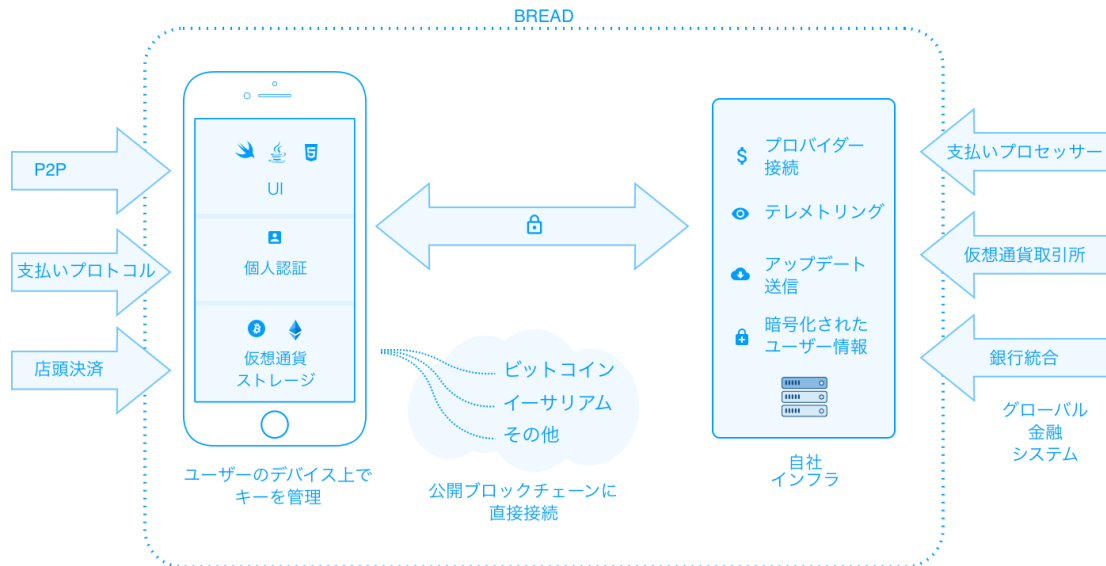
この機能によりユーザーは自らの保存した個人情報、何度も同じ内容を入力することや、安全性の低いチャネルを利用することなく、必要とする事業者に対して提供することが可能になります。また、これらの情報を受け取る販売店やサービス提供者にとっても、情報を自ら保管する必要がなく、セキュリティ侵害の際のリスクを軽減できるというメリットがあります。また、ユーザー情報は媒介者を通して受け渡しができる形式で暗号化することが可能です。例えば、販売店はクレジットカードプロセッサーを通じて暗号化されたクレジットカード番号や個人情報を受け取るが、元の情報を見ることはできず、センシティブなデータの取り扱いの責任を負う必要がない、といった形です。

## 業界リーダーを目指して

Breadは現在まで継続的に、ビットコインプロトコルの開発と改善に参加しており、仮想通貨・デジタル資産の業界の成長において積極的な役割を果たしているという認知を得ています。最も直近では、BreadはW3CのWEB決済ワーキンググループに参加しており、Google、Apple、その他の著名なIT企業と共に、今後世界中のWEBブラウザに導入されるであろう新たな決済プロトコルAPIの定義をサポートしていきます。

上記のすべての機能によって、「真にグローバルで、分散化された金融プラットフォームとなり、ユーザーが全ての仮想通貨及びデジタル資産のエコシステムにアクセスすることを可能にする」という、Breadのビジョンを実現することが可能になるでしょう。





4 : Bread

## 7. リワードプログラムとトークンの割り当て

Breadは、Breadプラットフォーム内で特典などを得られるBreadトークン（BRD）を導入します。このトークンは有価証券と見なされるような直接的な収益分配の仕組みを一切持ちません。トークンは我々のアプリと分散型銀行プラットフォームで利用することができ、株式や仮想通貨株式、会社の業績との連動はございません。

Breadの利用者は様々なプロモーションやプレゼント企画でトークンを獲得する事ができます。この様なプロモーションはマーケティングの観点からもBreadの利益になるように設計されています。下記の様な例がございます：

- アプリを通じたオプトインアンケートへの参加。これらの調査を通じて、頻繁に仮想通貨やBreadをご利用するユーザーの方々のニーズを把握する事が可能となります。
- ソーシャルメディアにて、Breadを利用するメリットについて面白く、魅力的で、興味深い投稿を行った方々へのプレゼント企画。こういった投稿はBreadの露出を強化し、新規ユーザーの獲得に繋がります。

- 一定量以上の仮想通貨やトークンを保持しているユーザーや頻繁にBreadをご利用しているユーザーを対象としたエアドロップ。この様な取り組みはユーザーの方々が競合のサービスではなく、Breadを利用する理由になります。

## 優待価格

Breadは引き続きフリーミアムモデルを採用し、ビットコインとイーサリアムの基本的なウォレット機能は完全無料をご利用頂けると同時に、別途利用料を支払うことで追加機能もご利用頂けます。現在も、ビットコインやイーサリアムの売買等のBreadのアプリ上で直接パートナー企業によって提供されるサードパーティサービスを利用するには、パートナー企業に利用料を支払う必要があります。加えて、期間毎もしくは一回毎の課金によって、前述のトークンと資産のポートフォリオ管理に関するいくつかの新機能が利用できます。

ほとんどのサービスで二つの価格帯が設けられています。BRDトークンで支払う場合は特別割引がなされ、ビットコインやイーサリアムなどその他通貨で支払う場合は通常価格となります。BRDトークンの価値は、購入時の市場レートによって決定します。

例えば、ユーザーがBreadを通じてビットコインを購入する場合、\$5USDのサービス利用料を支払うのに、BRDトークンを使えば\$3USD分の支払いで済むといったことが可能になります。必要なBRDトークン数は、支払い時の市場の価格に応じて変動します。BRDトークンで支払った場合の割引率は、購入するサービスや製品によって異なります。支払い方法は、支払うタイミングで選ぶことができ、BRDトークンでの支払いを選択した場合には自動的にBreadウォレットの残高から引かれる仕組みになっています。

## 無料利用権

6章で示したトークンポートフォリオ管理機能など、通常は利用料が発生する一部の機能について、一定以上のBRDトークンを保有する方は無料をご利用頂けます。これらのトークンはロックされないためユーザーはいつでも引き出すことができますが、トークン保有量が必要量を下回った場合にはアクセス権は無効になります。

## 保有者限定サービス

トークンクラウドセールへの早期アクセス、新機能の早期利用、アプリ内の特別コンテンツ、その他特典等の他機能は、BRDトークンでの購入時のみ利用でき、またBreadウォレット内に一定以上のトークンを保有するユーザーのみが、機能に応じてアクセスすることができます。

特別機能はアプリ外の特典も含まれます。例えば、エグゼクティブチームと直接コンタクトがとれることや、開発ロードマップで次に追加される機能について知れること、大量にトークンを保有するユーザーのみ参加するネットワーキングイベント等が含まれます。

## トークンの割り当て

88,862,718トークンのBRDトークンが発行されます：

- 37.11% (32,978,250 BRD) はプリセールで販売されました。
- 29.56% (26,263,561 BRD) はトークンクラウドセールで販売されました。
- 33.3% (29,620,907 BRD) はBreadが保有しました。

## 8. 財務及び規制遵守

大手銀行のような既存の伝統的な金融機関の多くが、幅広いユーザーにサービスを提供していますが、一般的に業務を行う地理的エリアは狭い範囲に限られ、多くの場合1つの特定の国に限られています。例えば、アメリカ銀行の支店はアメリカの至る所で見つけることができますが、国際的な都市で支店を見つけることはめったにありません。この理由は、銀行が保管機関であり、ユーザーの資産を保管しているからです。彼らは自分たちが営業している場所を管轄する法律や規制を遵守する必要があります。コンプライアンスを遵守するにはコストと時間がかかるため、世界中からユーザーを受け入れることを躊躇しています。

Breadはこの問題には影響されない独自のコンプライアンスモデルを構築しています。我々は、既存の規制や煩わしいコンプライアンス要件に自然と該当しないビジネスモデルを設計できる最善の顧問弁護士を常に追求してきました。

政府は金融に関して消費者を守るために法規制を設計しており、保管銀行はユーザーの資産を預かっており高い安全性を求められるため、規制をされます。一方、我々はユーザーの資産を預からないため、保管銀行と同等の責任を負うことなく、同様に規制も受けません。

保管銀行には不可能であったことが、ビットコインとブロックチェーンの力によって、今、可能になりました。Breadはユーザーの資産を預からないので、我々は保管銀行に関する地域の法律を遵守する必要がない状態で、世界中で合法的に営業を行うことができます。それにより、新しいユーザーがBreadをダウンロードした時、シンプルで摩擦のない利用開始プロセスが可能になります。登録する必要はありません。数秒以内にあなたは、あなただけがアクセスできて、実質的にハッキング不可能な分散型銀行口座を手に入れます。なぜなら我々はユーザーの資産を預からないからです。

ビットコイン取引所などの金融サービスプロバイダーと協力関係を結ぶことにより、我々は彼らのサービスを我々のアプリを通して提供することができます。さらに我々が現在ユーザーに提供している利点の全てをそのまま維持することができます。ユーザーがBreadでビットコインを購入する場合、ユーザーの管轄地域内でコンプライアンスを完全に遵守して合法的に業務を行っている現地のビットコイン取引所を利用します。我々のアプリはAPI経由で取引所のサーバーと直接通信を行うので、ユーザーはビットコインを簡単に購入することができます。取引所は特定のユーザー情報を収集することが多いので、我々はBread内でユーザーにそれらの情報の入力を依頼します。しかし、我々はコンプライアンス上の理由から、その情報を保管せず、その情報を記録する取引所へ送信することだけを行います。それから、ユーザーの取引を処理します。その後まもなく、ビットコインがユーザーのBreadに表示されます。

このコンプライアンスライトモデルは、我々の金融サービスパートナーがコンプライアンスを遵守する責任を負うことを意味します。それは大きな責任です。なぜなら、取引所は通常、新しい地域に移転する場合には、法令及びコンプライアンスへの対応に数百万ドルの費用をかけているからです。これらの企業と競争するのではなく、我々は彼らのサービスの上にビジネスを構築しました。彼らのサービスと連携し、それらをBread内のApp Storeのようなサービスプラットフォームを通してユーザーが利用できるようにすることが可能です。そして、ユーザーがこれらの企業に支払う手数料は我々の間で分配されるので、ユーザーの活動によって利益が得られます。これを可能にしたウォレット企業は今までほとんどいませんでしたが、我々は今年からこれに取り組んでいます。

このようなビジネスモデルにより、我々は世界のどの地域からもユーザーを受け入れることができます。保管業務を行わないので、地元の法規制の対象から除外されるのです。様々な地域の金融サービスパートナーと契約を結ぶことで、幅広い金融サービスが可能になります。我々

は金融サービスを実現するためのコストを負担する必要がないので（ただし手数料収入は共有しています）、コストを低く抑えることができ、投資に対するリターンを向上させることができます。

このビジネスモデルは、まさにビットコインが実行すべきものです。それは、中央集権ではなく分散しており、信用を必要とせず、ユーザーが自分の資産を管理できるようにします。しかし、将来新たな規制が適用される、または法律が厳しくなるというリスクが常にあります。そのため、我々は常に合法的な営業ができるように、チューリッヒ・ニューヨーク・その他の司法管轄地域で法律家のサービスを確保し、厳格なコンプライアンス遵守を維持するために常に地元の法律のチェックを行って、リスクに備えています。

具体的には、我々はMarco Santoriに法律顧問を依頼しています。彼は、ニューヨークに拠点を置く、Cooley法律事務所に勤務しており、おそらく世界で最もよく知られて信頼されているビットコイン／ブロックチェーンコンプライアンス担当の弁護士です。Marcoとチームは、保管業務を行わない銀行としての我々の立場を検証し、我々が貨幣サービスビジネス及び貨幣送信業者に適用される法規制の対象から除外されることを確認しました。世界で最も尊敬されている法律事務所の法律家から指導を受けたことにより、我々はこのビジネスモデルで世界的に成長し、伝統的な銀行のコストに比べて極めて少ないコストで付加価値サービスを提供し、さらに第一世代のビットコイン企業になることができると確信しています。

## 9. 結論

通貨は常に変化してきました。ビットコインは希少なデジタル資産を作る能力のカギを開けました。そして我々はまだこれが価値と投資の未来に与える影響のほんの一部を垣間見たにすぎません。「あらゆる物のデジタル化」は強力な傾向であり、急速に加速しています。Breadは、デジタルトークンがポートフォリオ管理の将来の姿であると考えています。

伝統的な保管銀行は、システム固有の認証リスクを排除して資産の直接管理を可能にしたBreadのようなソフトウェア企業に取って代わりつつあります。

ブロックチェーンの技術は、かなりの厚さまで複雑に積み上げられており、デジタル通貨と資産へのアクセス・利用・ナビゲートを安全に行うことができユーザーにとって使い勝手が良

いインターフェースが求められています。Breadの将来の姿は、信用できるサードパーティに対する信頼を落とすことなく、豊かで分散化した銀行サービスを個人に提供することです。管理者への信用が不要になったことで、我々は、世界中の誰もが即座に参加できて、そこから利益を得ることができる、今までよりもはるかに信頼性の高いシステムを作り上げたのです。

## 10. 出典

1:

<http://www.pewtrusts.org/en/research-and-analysis/issue-briefs/2016/12/consumers-need-protection-from-excessive-overdraft-costs>